

先生のための春の経済教室
エコノミストと考えるサステナビリティの
視点を生かした授業のつくり方
—サステナビリティの経済哲学—問題提起
千葉県立津田沼高等学校 杉田孝之

2025 年 3 月 29 日(土) 13 : 00~17 : 00

慶應義塾大学三田キャンパス北館 3 階

大会議室

+ オンライン (Zoom 形式)

主催 : 経済教育ネットワーク /

共催 株式会社東京証券取引所

本日のお話の流れ

- 1 サステイナビリティと教材選択の5条件
- 2 高等学校、中学校学習指導要領解説から
どうサステイナビリティを考えるか？
- 3 どうして阿部先生(中学校)、蘆名先生
(高等学校)から実践提案が出てきたのか
～サステイナビリティの考え方は、具体性、
切実性を持ちうるか...？

なぜサステナビリティを生かした授業設計なのか...！？－教材選択の5条件をヒント－

- ▶ 谷川彰英が提唱した「教材選択の5条件」を活用
- ▶ 1) 本質性 問題の本質に迫っている教材であること
- ▶ →サステナビリティから経済事象や課題が見える→学ぶに値する！
- ▶ 2) 具体性 五感にふれるもの、イメージ化できるものであること
- ▶ →サステナビリティを「腑に落ちる」学習内容で提供する必要あり
- ▶ 3) 関心適合性 生徒の関心「ひっかかりの心(=問い)」に即したものの
- ▶ →サステナビリティは生徒が生きる未来への架け橋となり得る
- ▶ 4) 関連性 社会認識の柱である関係認識にかかわりがあること
- ▶ →サステナビリティは世界市民、企業、市場、政府をつなぐ
- ▶ 5) 発展性 授業の中で発展性があるものであること
- ▶ →サステナビリティは経済→政治→国際関係→社会的共通資本

高等学校学習指導要領解説でSDGsは...？

1 「公共」における改善・充実の要点は、主に次の4点である。

イ 現実社会の諸課題から「主題」や「問い」を設定し、追究したり探究したりする学習の展開 「公共」の学習においては、社会との関わりを生徒が実感できる学習とするため、現実社会の諸課題などを学習上の課題とする。倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会にかかわる現代の諸課題を取り上げ、主題や問いを設け、考察、構想する。

2 (高等学校学習指導要領解説)主として政治に関わる事項

国際的な相互依存関係が深化し拡大する中で、国際社会が抱える様々な課題を解決するためには、国家や国際連合などをはじめとする国際的な機構・組織、非政府組織（NGO）、企業などが互いに連携しながら協力していくことの大切さを理解できるようにする。...自然環境や資源の有限性、貧困、イノベーションなどに関わる17のゴール（目標）、169のターゲットからなる国際連合における持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals。以下、SDGsと略す。）に触れながら...

高等学校解説その2

3 その際、例えば、SDGsを設定し、持続可能な開発のための取組を各国の国家主権を前提に進めている国際連合をはじめとする国際機構などの取組を取り上げ、我が国の取組との関連において調べまとめることが考えられる。また、我が国におけるSDGs 実施指針に示された八つの優先課題と具体的施策などに関わって、国民レベル、国家レベル、国際社会レベルで今できることや将来取り組みたいことなどについて様々な観点から考察し、発表し合うことなども考えられる。

中学校学習指導要領解説では…？

1 私たちと国際社会の諸課題

この大項目は、国際社会に対する理解を深めることができるようにし、国際社会における我が国の役割について**多面的・多角的に考察，構想し，表現できるように**するとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な課題について探究し、自分の考えを説明，論述できるようにすることを主なねらいとしている。

2 **国際社会に関する様々な事象や課題を捉え，考察，構想する際の概念的な枠組みとして対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目したり関連付けたりして，**国際社会に関する様々な事象などを理解できるようにしたり，**合意形成**や社会参画を視野に入れながら，**国際社会に関する課題の解決に向けて多面的・多角的に考察，構想できるようにする。**

中学校解説その2

3 世界平和と人類の福祉の増大のために、世界の国々ではどのような協力が行われているのか、**地球上にはどのような問題が存在し、その解決に向けて国際社会はどのような取組を行っているのか**、今後どのようなことができるか、といった現実の国際社会などに関する理解を基に考察、構想し、表現することができる適切な問いを設け、それらの課題を追究したり解決したりする...

4 **自然環境や資源の有限性**、貧困、イノベーションなどに関わる **17 のゴール（目標）・169 のターゲット**からなる**持続可能な開発目標（SDGs）を設定**し、持続可能な開発のための取組を各国の国家主権を前提に進めている**国際連合をはじめとする国際機構の役割が大切になってきている現状を理解できるようにする**とともに、国際社会において、国家や国際機構以外の組織が活動していることを理解できるようにすることを意味している。

どうして中学校、高等学校の実践がでてきたのか？

0 **教育とは意図的営み**である →(目の前にいる)児童、生徒をどう育成したいのか！

→ 年間のカリキュラムマネジメント(年間指導計画の見通しが求められる)

主題学習の授業設計：特に「学ぶに値する」(学習)内容が大切...

1 (学習)**内容**：どんな内容(教材)を習得させるか？

2 **目標**(めあて)：(学習)内容をもとに、生徒をどこまで目標に近づけ、(生徒に新たな)**問いを持たせられるか**

3 (教育)**方法**：講義？ゲーム？ジグソー法？...

春の経済教室では「サステナビリティの考え方」をいかに生徒に(具体的で切実性がある)「自分ごとに」にできるかが今回のメインテーマ！**だから...！以下の実践**

4 **蘆名先生**：分配や公正から現実の**社会問題の解決へ**

5 **阿部先生**：問題の把握→活動型→**課題解決の糸口へ**